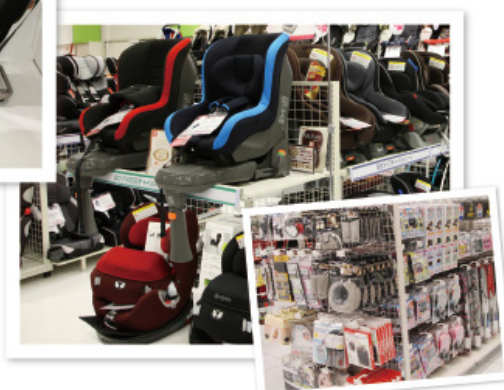


チャイルドシートの種類と選び方について



機能もデザインも豊富に揃っています。



スタッフの実演で取り付け方を確認!

チャイルドシートは正しく取り付けることが大切。実際に見本を使って体験してみましょう。

アカチャンホンポのチャイルドシート売場のポイントは？

チャイルドシートは、車に適したものを選ぶことが基本。正しく取り付けてこそ効果があるので、スタッフが取り付け方を実演しながらご説明します。さらに、ご自分でも売場に用意された車の座席に商品をセットしてみて、機能や使い勝手を確かめてからお選びいただけます。

チャイルドシート（ジュニアシート含む）の種類

Q チャイルドシートには、どんなものがあるの？

A 主に、2つのタイプがあります。

チャイルドシートは概ね、回転式・固定式の2つのタイプに分けられます。取り付けやすさや、お持ちの車に合うかどうかなどを考慮して選びましょう。なお、チャイルドシートは、種類によって使用できる期間が異なります。



チャイルドシート
新生児～4歳頃（～18kg）



ジュニアシート（1歳～）
1～11歳（9～36kg）



ジュニアシート（3歳～）
3～11歳（15～36kg）



まだ首がすわらず骨格が未発達な時期は、衝撃をなるべく広い面で受け止められるようなタイプがおすすめ。新生児から4歳児頃まで長期間使えます。



9～18kgぐらいまでは胸当て部分の広い面でしっかりガード。



15～25kgぐらいまではハイバックジュニアシートとして、22kgぐらいからは台座部分のみで、長期間使えます。

チャイルドシート（ジュニアシート含む）の選び方

Q チャイルドシートって、いつまでしないといけないの？

A 身長140cm以下、6歳までが目安です。

お子さまの身長が140cmになるまでは、チャイルドシートの着用をおすすめします。法令では、「生まれてすぐの新生児～6歳児」と規定されています。自動車のシートベルトを使用できるのが身長140cm以上なので、身長が足りないと、シートベルトが首にかかることもあり、危険です。

4歳頃からは、ジュニアシートがおすすめ!

座面を上げて子どもに大人用の座席ベルトを使えるようにするもの。座布団やクッションによる代用は滑りやすく、不安定なので大変危険です。

身長135cm以下
体重15～36kg



ここをチェック！チャイルドシート（ジュニアシート含む）を選ぶときのポイント

POINT
1

いつも使う車に取り付け可能かを確認

チャイルドシートは、すべての車に適合するわけではありません。店頭やチャイルドシートメーカーのホームページなどで、いつも使う車に装着可能かどうかきちんと確認しましょう。

POINT
2

いつも使う車の種類や大きさによって選ぶ

セダンタイプの車は間口が狭いので、限られたスペースの中でも扱いやすい回転タイプがおすすめ。間口が広いワンボックスタイプなら、そのまま取り付けられるタイプもおすすめです。

POINT
3

子どもの体格、体重に合ったものを選ぶ

適応月齢・体重を目安にして、子どもにあったものを使いましょう。大きくなってチャイルドシートを使ったり、新生児のうちからジュニアシートを使うのもNGです。

チャイルドシートとは

チャイルドシートとは、シートベルトを正しく着用する事ができない赤ちゃんや子どもが自動車に乗車する際に、安全を確保する為の体を固定する装置のことと言います。道路交通法により退院する生後すぐから6歳未満の赤ちゃんに使用する義務があります。

アカチャンホンポのおすすめ商品



オーボールラトル

振ったり、転がしたりすると、カラフルなビーズが楽しい音を響かせる、赤ちゃんのためのオーボール。



赤ちゃんモニターミラー

後ろ向きチャイルドシートに乗った赤ちゃんの様子を、振り返らなくても確認できる便利なミラー。

※ここに示した身体の変化や胎児の成長、必要数はあくまでも目安です。

※商品写真・イラストはイメージです。

他にも多彩なアイテムをご用意しております。

チャイルドシート（ジュニアシート含む）の
ご購入はこちら